

第1章 高齢者の積極的活用が企業を活性化する

第1節	超高齢社会の到来	2
第2節	高齢者の処遇・序章	5

第2章 高齢法の改正と継続雇用

第1節	改正高齢法の概要	8
1	継続雇用制度の対象者を限定できる仕組みの廃止	8
2	継続雇用制度の対象者を限定する制度の経過措置	8
3	継続雇用制度の対象者を雇用する企業の範囲の拡大	9
4	継続雇用制度の例外	9
5	賃金・人事処遇制度の見直し	10
第2節	高齢者の雇用・就業の状況	11
1	高年齢者雇用状況報告でみる高齢者の雇用・就業の状況	11
2	定年経験者に対する調査でみる雇用・就業の状況	12
第3節	雇用延長に対する企業の認識	14
1	60歳以降の雇用の確保	14
2	再雇用者の賃金	15
3	改正高齢法施行に伴う対応	16
第4節	高齢者の就労意識	18
1	定年制度と継続雇用制度	18
2	再雇用者の満足度と高年齢雇用継続給付の受給状況	20

第3章 これまでの人事・処遇制度

第1節	高齢者、高年齢者、老後及び老人の定義	24
第2節	高い高齢者の勤労意欲	25
第3節	前途多難な雇用情勢	26

第4節	二重構造となっている労働市場（中小企業と大企業における処遇制度の違い）	27
1	年功的処遇の検討	27
2	年齢の高まりと賃金との相関関係	28
3	勤続年数の高まりと賃金との相関関係	29
4	一般労働者と標準労働者の賃金カーブが異なる理由	30
5	労働市場の二重構造と高齢者の処遇	31
第5節	知識・技能修得と処遇	32
1	人的資本論	32
2	中途退職が少ない理由	33
3	定年制が必要な理由	34
4	新規学卒者一括定期採用とリンクしている定年制	34
	◆豆知識1 定年制を定めた規則の始まり	35
第6節	これまでの賃金の決め方	37
1	これまでの賃金の支払われ方	37
2	個別賃金（基本給）決定の3基準	37
3	過去存在した基本給の項目	39
4	基本給に属人給の項目が多い理由	40
5	電産型賃金体系	41
	◆豆知識2 生計費とは	43
6	現在の企業における基本給の決め方	44
7	現在の大企業の基本給の項目	45
8	諸手当の支給実態	47
9	賞与の支給実態	50
	◆豆知識3 賞与支給の始まり	53

第4章 これからの高齢者の処遇

第1節	処遇は仕事（役割）で決める	56
	チャート図 「役割給」設計の手順	59
第2節	役割給の歴史	60
第3節	役割給の決定のベースは職務	61
第4節	職務給の歴史	62
第5節	職務分析	64
1	職務分析の目的	64

2	職務分析の対象となる職務	64
3	職務分析の方法	66
4	職務記述書	67
第6節	職務評価	67
1	職務評価の目的	67
2	職務評価の方法	68
第7節	役割給における職務と担当職務以外の役割の評価	71
1	役割給における職務の評価要素	71
2	役割給における担当職務以外の役割の評価要素	71
第8節	役割記述書	72
第9節	役割給の利点	73
第10節	役割給の役割評価の例と役割等級	75
第11節	役割の評価結果と基本給の額の決定	76
1	役割給に必要である賃金相場	76
2	厚生労働省の「賃金構造基本統計調査」	77
3	各労働局の「職種別賃金情報（一般常用）」	77
4	公益財団法人日本生産性本部「活用職種別賃金統計」	78
第12節	簡便な職位給、役割給の設計	80
第13節	厚生労働省の「職業能力評価基準」の活用	81
1	職業能力評価基準の特徴	81
2	職業能力評価基準の枠組み	82
3	職業能力評価基準の職種と職務の一覧表	84
4	職種別能力ユニット一覧 (職種：生産管理、職務：生産管理オペレーションの例)	85
5	能力ユニット別職業能力評価基準の例 (「関係者との連携による業務の遂行」と「作業管理」)	87
6	職業能力評価基準を利用した「役割記述書」の例	89
第14節	職位と肩書き、諸手当、賞与	90

第5章 これからの高齢者との労働契約のあり方

第1節	労働契約の個別化の必要性	92
第2節	個別の労働条件と役割の明示	93
第3節	労働契約の原則	95

第4節	労働契約の期間	96
第5節	労働契約の更新（雇止め）	99
第6節	労働条件の不利益変更	101

第6章 これからの高齢者の評価、目標管理及び業績賞与の支給

- 1 人事・処遇制度の運用の重要性 106
- 2 評価制度の必要性 106
- 3 目標管理制度のあり方と活用 107
- 4 全社員が共有できる数値目標の具体例 108
- 5 数値目標をクリアした場合の業績賞与の支給 110

第7章 退職金・企業年金のあり方

- 1 退職金・企業年金の歴史 112
- 2 退職金・企業年金の支給の現状とその問題点 113
- 3 退職金・企業年金の今後 113

終章 いきいきとした高齢期の過ごし方

- 1 健康寿命を延ばす努力が必要 118
- 2 様々な分野・生活の場での活動の充実 119
- 3 発想を転換させる 120